

特集

不整脈



TAKE FREE

ご自由にお取りください



TOPIC 01

不整脈とは

心臓は電気刺激で動く臓器です。

不整脈とは、心臓の中の電気刺激が通常とは違う状態の総称です。

一般的に正常なリズムよりも速くなったり、遅くなったり、不規則になることがあります。

心臓は体の中で血液を送り出すポンプの役割をしているため、このリズムが乱れると、血液の流れにも影響が出ることがあります。

不整脈は、全く無症状なこともあります。重大な健康上のリスクになる恐ろしいものも含まれます。

不整脈の種類

① 頻脈性不整脈

心拍数が異常に高くなる状態

② 徐脈性不整脈

心拍数が異常に低くなる状態

③ 期外収縮

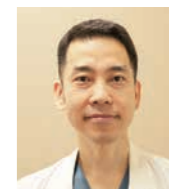
正常なリズムの中に突然異常な拍動が入る状態

Q&A

不整脈



不整脈を専門とする当院の循環器内科不整脈部長の仲村健太郎先生がお答えします。



Q1 不整脈はなぜ起こるの？

不整脈が起こる原因は多くあります。心臓病や高血圧、甲状腺機能亢進症などの他の病気が影響することもあります。

また、ストレスや過度のカフェイン摂取、アルコールの過剰摂取など、生活習慣が原因で起こることもあります。沖縄県では特にアルコールと肥満、遺伝性の素因によるものが多く見られます。

Q2 不整脈になるとどんな危険がある？

不整脈自体は多くの場合、命に直接関わるものではありませんが、放置すると心臓に負担をかけることがあります。

重い場合には、心不全や脳卒中を引き起こすこともあります。稀ではありますが、直ちに致命的になるものも含まれます。

このような重大な問題に発展するのを防ぐため、生活習慣に気を配り、定期的に心電図による健康診断で早期発見、早期治療を心がけましょう。

Q3 不整脈はどんな症状がやすい？



不整脈の症状は全くない場合もありますが、心臓の鼓動が速くなったり、遅くなったり、乱れたり、飛んだり、ドキドキと強く感じられたり人によって大きく異なります。

その他、息切れ・めまい・胸の痛みや不快感、疲れやすさなど、さまざまな症状が出る場合があります。これらの症状が現れた場合には、専門の医師に相談することが大切です。

TOPIC 02

主な症状・見過ごさない方がよいサイン

1

息切れ・動悸

普段の活動や安静時に異常な息切れや心拍の速さを感じる。



2

胸の痛み

胸部に不快感や痛みが生じる場合があります。



3

めまい・失神

脳への血流が一時的に不足し、めまいや失神を引き起こすことがあります。



4

易疲労感

普段以上に疲れやすくなる場合があります。



不整脈 症状チェックリスト

- 脈を触って、規則正しく打っていない
 - 少し身体を動かすと息切れする
 - 胸がドキッとすることがある
 - 意識を失って倒れたことがある
 - 突然胸がドキドキし、持続する
 - 突然めまいがすることがある
- ※正常な脈拍数：1分間に50回から100回

気になる方へ

当てはまる項目が多い場合は、早めに医療機関などで相談してください。

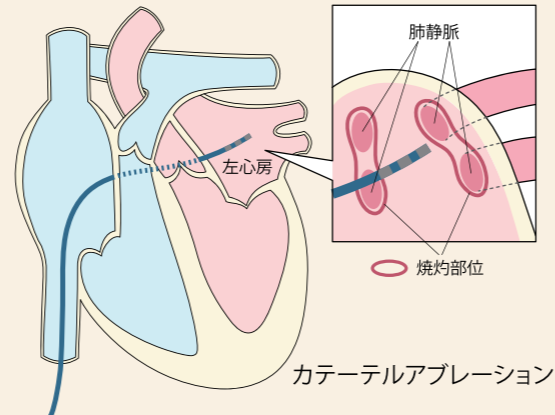


新病院での設備と豊富な経験を持つ医師により、患者さん一人ひとりに合わせた治療を行っています。多岐に渡る治療法の選択肢から、最適な治療法を提案します。

心臓カテーテルアブレーション治療について

カテーテルアブレーション治療とは主に頻脈性不整脈に対して行われる治療です。

不整脈の原因となる心臓の部位にカテーテルを通じて通電を行い、異常な電気信号の発生源や回路を「焼き切る」治療法です。



治療方法の特徴

開胸手術に比べて侵襲性が低く、回復も早いので、患者さんの身体への負担が大きく軽減されます。また、内服治療とは異なり、根治が目指せます。特に再発を防ぐ効果が高く、長期的な治療成績に優れています。当院では全身麻酔下の治療も行っています。

ペースメーカー治療について

主に徐脈性不整脈などで心臓の拍動が不規則になった場合に、ペースメーカーを体内に植込み、正常な心拍を維持する治療です。

特殊なものとしては突然死を予防するための「植込み型除細動器」や心不全に対する治療として行われる「心臓再同期療法」があります。

当院では、ペースメーカーを用いた治療を提供しており、患者さんの生活の質の向上に貢献しています。



当院の手術件数 2023年データ

CIED* (植込み型心臓電気デバイス) **148** 件

*CIED…不整脈に対する治療を行う植込み機器の総称。

デバイス件数	新規	交換
ペースメーカー	54	25
ICD(植込み型除細動器)	36	4
CRTD(両心室ペーシング機能付き植込み型除細動器)	17	4
CRTP(両心室ペースメーカー)	7	1

当院の取り組み

オンライン完結型アップルウォッチ外来

当院では患者さんの重症度やライフスタイルに合わせた診療を行うため、全国初のオンライン完結型アップルウォッチ外来やスマートウォッチを活用した心拍モニタリング実証事業を行っています。



アップルウォッチ外来の詳細はこちら

県内外で医師への手術指導

県内外の医師への手術指導等も頻繁に行っており、医療技術の発展に寄与しています。

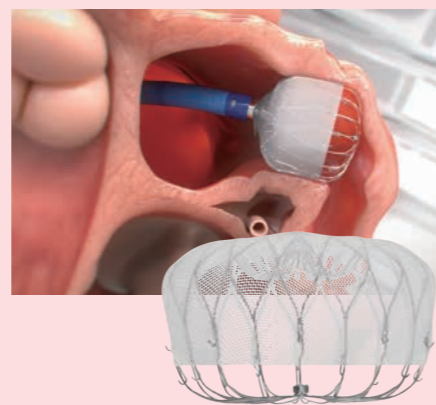
新たな心原性脳塞栓症予防のカテーテル治療

沖縄県内初

WATCHMAN FLX™ (ウォッチマン)

当院では、2023年6月より沖縄県内で初めて WATCHMAN FLX™を使用した新しい心原性脳塞栓症予防のカテーテル治療をスタートしました。

出血性リスクがあり、長期間の抗凝固薬服用が難しい不整脈の一種である心房細動の患者さんの心臓(左心耳)に機器を用いることで、血栓の遊離を防ぎ、脳梗塞発症リスクを低減します。



WATCHMAN FLX 左心耳閉鎖システム

WATCHMAN FLX™

左心耳閉鎖術とは



脳卒中を発生させると言われる心臓由来の血栓の90%が、左心耳(LAA)で形成されます。

WATCHMAN FLX™は左心耳(LAA)を永久的に閉鎖し、血栓を移動させません。



抗凝固薬の代替療法として左心耳を永久的に閉鎖し脳卒中のリスクを減らします。



WATCHMAN FLX™のメリット

① 身体への負担が少ない

カテーテルによる手術のため傷口は小さく入院期間も4日ほどです。
※患者さんの病状や体調などにより入院期間が延びる場合があります。

② 抗凝固薬による出血を防ぐ

術後45日で92%、1年で99%の患者さんが抗凝固薬の中止に成功しています。

③ 脳梗塞の原因となる血栓形成を予防する

血栓形成の90%は左心耳で起こり、そこを閉鎖することで抗凝固薬の内服なしに脳梗塞を予防します。

地域をまもる 地域災害拠点病院 災害時の浦添総合病院の役割

災害拠点病院とは

災害時に傷病者の受け入れや搬送ができる体制を有する、災害対策基本法に基づく都道府県知事の指定を受けた病院です。

当院は、2015年に沖縄県から「地域災害拠点病院」に指定されました。

県内や近県で災害が発生したときに、通常の医療体制で

は被災者に対する適切な医療の提供が困難な場合に、県知事の要請により、傷病者の受け入れや災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team=DMAT）の派遣を行う機能を備えています。

災害拠点病院の指定要件

当院で災害時および災害に備えて行う主な取り組みを紹介します

24時間緊急対応



24時間緊急対応し、災害発生時に災害地内の傷病者等の受け入れ及び搬出が可能な体制であること

被災地からの傷病者受け入れ



災害発生時に、被災地からの傷病者の受け入れ拠点にもなること

災害派遣医療チーム (DMAT)



災害派遣医療チーム (DMAT) を保有し、その派遣体制があること

定期的な訓練を実施



整備されたBCP（業務継続計画）に基づき、被災した状況を想定した研修及び訓練を実施すること

水の確保



災害時に少なくとも3日分の病院の機能を維持するための水を確保すること

ヘリコプターでの搬送



被災地の災害拠点病院と被災地以外の災害拠点病院とのヘリコプターによる傷病者、医療物資等のピストン輸送を行えること

新病院の施設や設備

新病院では災害医療に対応するために、施設や設備面の整備を行っております。災害時には、ヘリコプターによる傷病者の受け入れや搬送のほか、患者の多数発生時用の簡易ベッドも200床保有し、診療エリア以外にも医療用ガスの配管を設置しています。



病院棟は免震構造となっています



病院屋上にヘリポートを設置し他機関への離発着が可能です



自家発電機を設置



貯水タンクや簡易ベッドの他、食料等も備蓄しています

黒糖防災缶 贈呈式

2023年12月にJAおきなわ様、沖縄総合フーズ様から黒糖を使った「おきなわ黒糖防災缶」960食を寄贈いただきました。

12月22日(金)の贈呈式では、当院の伊志嶺朝成病院長がJAおきなわ農業振興本部の高江洲修常務理事と株式会社沖縄総合フーズの新城満代表取締役社長から黒糖防災缶を受け取りました。

災害時などに有効活用させていただきます。



3年間の長期保存が可能です



12月に当院で行われた贈呈式

DMAT 災害派遣医療チームとは

災害発生から48時間以内に活動できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた医療チームです。

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとり略して「DMAT(ディーマット)」と呼ばれており、医師や看護師、救急救命士などから構成されています。



能登半島地震被災地へ派遣された当院 DMAT



能登半島地震被災地へDMATを派遣

1月31日(水)から能登半島地震の被災地支援のために、当院の医師や救急救命士合わせて6人を災害派遣医療チーム (DMAT)として石川県へ派遣しました。

派遣先の穴水町では、派遣当時は約1500人が44カ所の避難所で生活しており、派遣チームは2月2日(金)から4日(日)まで避難所などを回り、医療支援を行いました。

その後の帰還式で、チームを代表して米盛輝武 救命救急センター長は「災害のリスクはわからないので、普段からいろいろ準備しておかなければならないとDMATの我々も痛感しました。浦添総合病院は災害時にこの地域できちんと業務を行い、機能を拡張して周りを受け入れる病院にしていけないといけない」とあいさつしました。

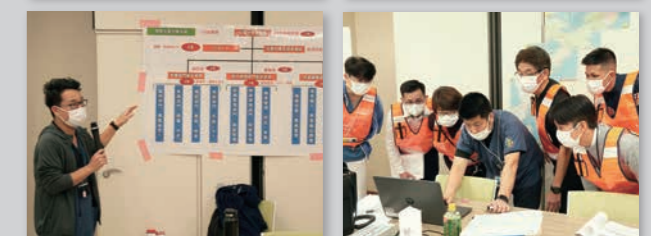
DMAT実働訓練を実施

1月26日(金)～28日(日)の3日間にわたって 沖縄県を会場にした大規模訓練「九州沖縄ブロックDMAT実働訓練」が県内の医療機関や沖縄県庁などで行われました。

院内で災害訓練を実施

当院でも、1月26日(金)・27日(土)の両日、震度6強の地震を想定した院内災害訓練を実施しました。

訓練では、職員らが病院災害対策本部の立ち上げや本部運営、多数の傷病者の受け入れ訓練などを行いました。今後も地域の災害時医療の役割を果たせるように、訓練を重ねていきます。



2日間にわたって行われた院内での災害訓練

家族の介護のお手伝いと利用者の快適な生活をサポート



ヘルプーステーション らくだ



ヘルプーステーションとは ……………

住み慣れた自宅、環境で安心して生活を続けていただくために、介護保険をご利用の方(要支援・要介護認定を受けた方)、そして、障がい者(児)の方に介護福祉士等の資格を持つヘルパーを派遣し、必要な支援や生活全般のお手伝いをさせて頂くサービスです。

利用者さんのご自宅に直接訪問し、生活援助や身体介護を行います。



主なサービス内容

訪問介護のサービスは大きく分けて2種類あります。

生活援助

- 掃除
- 洗濯
- 食事作り
- 買い物



身体介護

- 食事介助
- 入浴介助(清拭)
- 排泄介助
- 更衣介助
- おむつ交換



24時間 365日

訪問しています

ご本人・ご家族と相談させて頂きながら、臨機応変に対応致します。

らくだの特徴

経験豊富なヘルパーが多数在籍

10年以上の現場経験豊富なベテランスタッフが多数おり、さまざまなニーズに対応できます。介護方法の工夫や提案、アドバイスなどでもできるスタッフが多数います。



喀痰吸引・経管栄養の対応

有資格者が多いため、喀痰吸引等の支援や経管栄養の対応も行っていきます。



障害支援・介護保険の制度も対応 すべての年代の方が対象

重度のご利用者さんへの対応や看取りケアも得意とし、医師や看護師との連携もしっかり行っております。



勉強会や研修へ参加

事業所内で毎月勉強会を行い、研修会にも積極的に参加してスタッフのスキルアップ向上に取り組んでいます。



初めての方へ

初めて訪問介護をご利用する方は、日々の生活の中にヘルパーが介入していくので不安なことなどたくさんあるかと思えます。ご本人やご家族にはできるだけ不安を取り除けるよう、不明な点は丁寧説明させて頂いています。

お問い合わせ

ヘルプーステーションらくだ
TEL:098-870-1026 FAX:098-988-0061
✉ rakuda@jin-aikai.xsrv.jp



Instagramをぜひご覧ください

浦添総合病院
健診センター

健診後すぐに

精密検査 ご予約受付中!



人間ドック健康診断後に

精密検査の必要がある方



専任スタッフが受診予約や紹介を行っています

予約案内ブースを始動しました

2023年10月より、浦添総合病院健診センター地域連携チームによる予約案内ブースを始動しました。

受診予約や医療機関の情報提供

精密検査受診率の向上や適切な医療機関への紹介を目的に、人間ドックや健康診断の結果で精密検査の必要がある方に対し、健診終了後に浦添総合病院の受診予約のほか、地域医療機関の紹介など情報提供を行っています。

健診結果は身体からの大事なサイン

精密検査とは

健診結果で出た異常値が一時的に数値が悪かったのか、あるいは病気のサインなのかを調べる検査です。一時的なものだったと分かれば安心でき、病気が見つかったとしても早期であるほど対策しやすく、身体への負担も少なくて済みます。

忙しくて検査に行けない

予約が面倒



どの病院に行ったらいいかわからない

自覚症状がないから大丈夫

…と精密検査を放置していませんか?

当センターでは浦添総合病院と連携し、健診当日に予約担当者と相談しながら浦添総合病院の診察・検査の予約・説明を行い、病院の受診回数や待ち時間が短縮できるよう取り組んでいます。

例えば

大腸がん検診の精密検査対象の方(便潜血陽性)

初回の病院受診で検査が受けられるよう大腸カメラ検査の予約、検査前・当日の説明を行うことで病院受診の回数減につながっています。(治療中の方は診察から案内する場合があります)

事前に精密検査の内容を聞くことで

受診時の不安軽減へ

受診者さまの声

精密検査は何をするか不安だったけど、これを機会に行ってみます



仕事が忙しくて自分で予約取るのを忘れるから今日で予約できて良かったです!



予約がスムーズにとれて良かったですあ~



浦添総合病院以外の医療機関をご希望の方へは精密検査の項目に沿った医療機関のリストの提示を行っています。受診者に寄り添い、早期受診・早期発見の一助になれるよう務めて参ります。

浦添総合病院健診センター
予約受付

0570-010-986

【受付時間】
平日 8:30 ~ 16:00
土曜 8:30 ~ 11:00



予約・問い合わせはこちら

浦添総合病院では 2人主治医制 を推進しています

「2人主治医制」とは、ひとりの患者さんに対し、当病院の医師と地域のかかりつけ医が連携し、共同で継続的な治療を行うことです。紹介状を通して、患者さんの診察状況を共有します。

浦添総合病院



主治医

節目の治療

専門的な検査や治療が必要な時

紹介

連携

逆紹介

症状が安定した時

かかりつけ医



主治医

日頃の管理

連携医療機関のご案内

当院では、地域のかかりつけ医である連携医療機関の先生方と共同して、切れ目のない医療の提供を目指しています。今回は沖縄県内各地の連携医療機関の中から「ひびき内科クリニック」をご紹介します。ひびき内科クリニックでは、主に一般内科疾患や呼吸器疾患など、専門医が当院の医師と連携して、さまざまな診療を行っています。

ひびき内科クリニック

TEL:098-943-2666 FAX:098-943-2667

〒901-2111 浦添市経塚786番地1F

《診療科目》 一般内科、呼吸器内科

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 8:30~11:30	○	○	○	○	○	○	/
午後の部 13:30~17:00	○	○	/	○	○	/	/

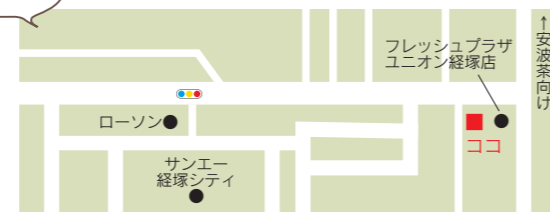
休診日:水曜・土曜日午後、日曜日、祝日

気軽に通える地域の温もりあるクリニックを目指し、患者さまに寄り添い、きめ細やかで丁寧な診療を心がけております。



院長 石川貴代先生

案内図



内観



当院では、地域医療支援病院としての機能やサービス内容、特色などを地域へ発信し、各連携医療機関とのシステムづくりを行っています。

連携医療機関はこちらをご覧ください



浦添総合病院

外来診療案内

	受付時間	診療時間
午前	8:00 ~ 11:00	9:00 ~ 12:30
午後	12:00 ~ 16:00	14:00 ~ 17:00

救急外来は
24時間365日
診療しています

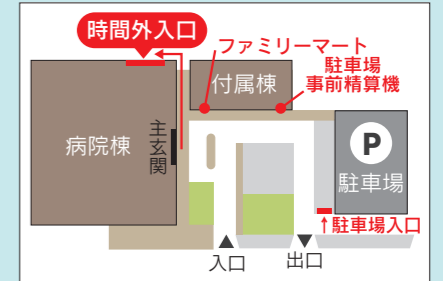
※土曜午後・日曜・祝日は休診となっております

外来診療表はこちらをご覧ください



紹介状を持参しないで受診される患者さんに対しては、「初診時選定療養費」として7,700円を徴収させていただきます。

また、他の医療機関へのご紹介を申し出た後も、当病院での診療を希望し受診される患者さんに対しては、「再診時選定療養費」として3,300円を徴収させていただきます。



時間外入口は、主玄関より建物右側にお通りください

【時間外入口対応時間】

平日: 18時~翌7時20分

土曜: 13時~翌7時20分 日曜/祝日: 終日

地域をつなぐ My 自治会

今号よりスタートした「地域をつなぐ My自治会」では、浦添市内の自治会の取り組みを紹介します。

前田自治会

自治会の活動

- 7月 綱曳きの拌み
- 8月 綱曳き・前田棒演武盆踊り
- 11月 自治会運動会
ワカリジーライトアップ
- 12月 クリスマスイルミネーション点灯式
- 1月 初日の出祈願祭
合同生年祝



自治会長
石川仁孝



浦添市指定文化財(民俗文化財)の「前田の棒」



地域の特徴

前田自治会は浦添市の東側に位置し、北側の浦添グスク東端にそびえ立つ市内で最も高い場所に浦添八景にも選ばれたワカリジー(為朝岩)があります。東・南・北の三方を標高100~130メートルの丘陵に囲まれた中央部が低く、盆地上の地形で、北側と東側の高地を分水源として地下水が豊富で地域の所々に湧き水や井戸が多くあります。

地域の歴史・文化

戦前まで旧暦6月に「綱曳き」、8月に「棒つかい」と「むら芝居」を行っていましたが、沖縄戦で中断し、1975年に復活後は新暦の8月に「綱曳き」と「棒術」を行っています。「前田の棒」は浦添市の文化財に指定され、毎週水曜20時から前田自治会館広場で棒保存会より子どもたちを指導し継承しています。

健康づくりの取り組み

毎週木曜10時~14時には、前田自治会館で生き生き健康クラブ(浦添市委託事業)を実施し、高齢の方がゲームや踊りなどで健康・体力づくりをしています。毎週金曜10時~12時には百歳体操、また毎月第4水曜のふれあいサロンでは映画鑑賞や講話、食事会も行っています。誕生日会やカラオケなど盛りだくさんの取り組みがあります。



仁愛会の理念

- 地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- 信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- 働き甲斐のある職場
- 仁愛会の職員であることが誇れる企業



浦添総合病院

〒901-2102 浦添市前田一丁目56番1号

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)

- つるかめ訪問看護ステーション
TEL:098-877-0645



浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

- 介護老人保健施設アルカディア
- 訪問リハビリテーションアルカディア
TEL:098-879-1000
(上記2事業所共通)
- アルカディア通所リハビリテーション
TEL:098-878-1675
- ヘルパーステーションらくだ
TEL:098-870-1026
- 浦添市地域包括支援センターみなとん
TEL:098-876-3710
- 浦添市地域包括支援センターさっとん
TEL:098-877-3103
- ことぶき指定居宅介護支援事業所
TEL:098-875-4165

- 浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-875-7171

